

少子化時代の「良妻賢母」

スーザン・D・ハロウェイ著

日本の女性はなぜ結婚、出産をしなくなったのか。どうすれば前向きに生きられるか。母親たちへのインタビューからその答えを探ろうとした一冊だ。インタビューの時期は2000年代前半で、今と状況が異なる部分もある。だが、子育ての責任の重さや仕事を続けることの難しさなど、根っことなる課題は共通する。海外の研究者だからこそ、日本の課題が見える面もありそうだ。高橋登ほか訳。

(新曜社・3700円)